



# よろこび

2020.3.20 第124号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信

## 献げる喜びに生きる

奥羽教区・弘前教会牧師 村岡 博史

「彼らは喜んで同意しましたが、実はそうする義務もあるのです。異邦人はその人たちの霊的なものにあずかったのですから、肉のもので彼らを助ける義務があります」

(ローマ15・)

27)

隠退教師と  
そのご遺族を  
支える「謝恩  
日献金」「隠  
退教師を支え  
る運動・1000円献金」にい  
つもお協力くださり、教団年  
金局理事の一人として皆さま  
に感謝申し上げます。  
各教区からの年金局理事は、  
ほぼ財務担当の方ですが、奥



村岡 博史 牧師

羽教区では伝統?として議長  
の「あて職」となっておりま  
す。その関係で邑原宗男前議  
長の後任として、今年度、教  
団年金局理事を拝命し、まっ

たくふさわし  
くない者と自  
覚しつつ、務  
めさせていた  
だきました。  
理事会では、  
実生活とおよ  
そ縁遠い桁の  
数字や昨今の

世界経済事情が羅列された諸  
資料に接するため、軽い「目  
まい」すら感じます。同時に、  
隠退教師とのご遺族を覚え  
てお献げくださる全国の皆さ  
まの熱い思いに深い感謝を覚

えました。また、全国から集  
われる信徒理事の皆さまが、  
真剣に隠退教師とのご遺族  
を思ってくださいていること  
に感銘を受けました。私は、  
年金局理事の中では少数者で  
ある牧師の立場から発言する  
責任を感じ、特に、地方教区  
の牧師とのご家族の状況をお  
伝えする役割があると思わ  
されました。

青森・岩手・秋田からなる  
奥羽教区は、2018年度の  
「謝恩日献金」の参加率は98%、  
「隠退教師を支える運動・100  
0円献金」の参加率は97%で  
した。いずれも全教区中トッ  
プを「独走」中です。今回、  
奥羽教区が高い参加率となる  
理由を考えてみました。一つ

日は、前議長（理事）と担当信徒の方がいろいろな機会を捉えて教区内でコツコツとアピールしてきたことです。「謝恩日献金は第34回教団総会（2004年）決議だから、全教会伝道所が取り組まなければならぬ」と前議長はよく仰っていました。二つ目は、9月発行の「奥羽教区通信」で両献金を毎年アピールしてきたことです。三つ目は、毎年1月に教区内の全教会伝道所から献げられた両献金の状況すべてを一覧表でお知らせし、献金にご協力をお呼びかけたことです。四つ目は、教区を一つの教会とみなして常置委員会が諸教会を「牧会」する伝統があったことです。そして、五つ目は、何十年も教区内教会伝道所で仕えて教区内で隠退生活を送られた「名物」牧師が何人もおられたことです。この五番目の理由も決して小さくない、と考えています。

北海・東北教区に挟まれた

奥羽教区は、3教区合同の宣教プログラムをもって交流してきました。しかし奥羽教区には、北海教区における札幌や、東北教区における仙台のようないくつかの大都市（大教会）がありません。教区内の4つの地区とそれぞれの教会が互いに助け合う必要がより高いのです。そのため、近隣の教会同士で顔と顔を合わせる機会が多いように感じます。代務や兼務も多いため、近くの教会の牧師にお世話になったという経験が互いの教会の信徒に多いと思われまゝです。また昔から、経済的に厳しい教会も数多く、加えて冬季の雪や寒さは、牧師とそのご家族に大きな忍耐を強いることも多々あったことでしょう。そんな厳しい環境の中で長く宣教されてきた牧師と信徒は、いつの間にか主イエスの「同志」としての絆を他教区にまして紡いできたのかもしれない。

私は奥羽教区での11年の中で、教区で長く牧会されて隠退さ

れた、今は天国におられる「名物」牧師やそのお連れ合いのエピソードを伺う機会が多々ありました。私の仕える教会にも、かつて、奥羽教区で何十年も牧会されたある牧師が隠退教師としておられました。隠退後のその牧師先生は、礼拝では常に最前列に座られ、「聖書の集い」に欠かさず出席され、主の証人としての模範を黙々と示されました。鶏が先か、卵が先か分かりませんが、主イエスへの情熱をもって牧師が信徒に伝え、同じ情熱をもって信徒が牧師に伝える、を紡いでいくことが決定的に大事なこと、と思わせられました。

私もこれまで何人もの隠退教師の先生方に祈られ、支えられ、お世話になりました。最近、私が尊敬し、身近にお世話になっている隠退教師の先生が、「教団年金は本当にありがたい」と仰ってください、とても嬉しく思いました。『教団新報』第4914号の「年

金特集」No.70でも、お一人おひとりの尊いお声を聴くことができます。

私たちは、隠退教師の先生方やそのお連れ合いを通して、霊的な恵みをいただき、主にある豊かな恵みにあずかりました。

その恵みを授けていただいた先生方を、献金という「肉のもの」でお助けできることは大きな喜びです。これからも全教会伝道所でのこの取り組みが前進しますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（むらおか ひろし）



## 「隠退教師を支える運動・1000円献金」

# 見えない方に繋がる

西中国教区推進員 高石 孝子

私が洗礼を受けた埼玉県の教会で目にした献金袋。「隠退教師を支える運動」と書かれていたけれど、理解することもなく毎月1000円献金を始めました。ある時、その呼びかけ言葉をじっくり読みました。聖書のみ言葉を伝える方がおられなければ今に繋がることはない。そして、その方がたが今の自分に関係がないではなくて、見えない方に導かれていると思いました。でも気づいた大きなことは、



高石 孝子 さん

この献金の呼びかけが北海道の信徒の声から始められた、ということでした。夫の仕事で大阪に転居。ここにも献金の袋がありました。信徒としての繋がりを思いました。そして、今の広島に転入しました。転入したらあると思っていた献金袋が見当たりません。この献金はすべての教会の信徒が行っていると思ってきましたのでびっくりしました。教会員の方に「隠退教師を支える運動」献金はないのですかと伺うと、少し前まではしていたけれど今は係がないとのこと。何か新しい教会でご奉仕ができればと思っていた矢先でしたので、係を受けました。事務局から送られてくる献金袋を皆さんの週報欄に入れていく時、隠退された

教師の方がたに思いをよせていきたいと祈りました。数年前から、教区の世話人として「隠退教師を支える運動」の協議会に出させていたでいて全国のお働きを伺う中で、何も動いていないことを痛感いたします。教区総会でアピールすることが精いっぱいですが、み言葉を伝えてこられた先生方の少しでもお役に立てたらと願っております。

『よろこび』を手にすると嬉しいお名前を拝見したり、寂しい報告を読ませていただき、私には子育て中に洗礼を受け、これからの生き方に道が定まりました。神さまからいただいた生命が一人ひとり輝くものであると思える幸いに感謝です。神さまに繋がるとご奉仕にはいろいろな形があります。神さまのみ言葉を伝え隠退された先生方を支える運動は、小さな声でも喜んでくださると信じて、今年こそは教区の中で声を出していききたいと思えます。

2019年の全教区推進協議会は欠席をいたしました。20年ほど前から小さな関わりで繋がっている、バングラデシユのNGOがしている初等学校訪問のためでした。イスラム教の国でわずかなキリスト者が起こしたNGOです。学校の小さな部屋で学ぶ子どもにいつも圧倒されて、帰る時にはたくさんの元氣玉をいただいています。時には、スタッフの所属する教会で礼拝に出席しますが、母語であるベンガル語の礼拝はわかりません。しかし何度も出てくる言葉を教えてもらうと、イエスさまの平和や愛であると、戸イエスさまの愛はしみとおる戸です。

神さまのみ言葉を伝える尊いお働きを感謝いたします。私には声を出すには大きなエネルギーが必要ですが、でもイエスさまにとらえられた信徒の一人として皆さまと歩ませていただきたいと思えます。  
(たかいし たかこ／広島主城教会)

## 業務室より

### — 年金を受けている方へ — 年金送付のお知らせ

4月の定例送金のご案内をします。

#### 送金内容

##### ①謝恩金受給者

2020年度第1期分給付額  
(2020年4, 5, 6月分)

##### ②退職年金受給者

2019年度第4期分給付額  
(2020年1, 2, 3月分)

送金日 2020年4月10日(金)

期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2020年7月10日(金)

住所・年金振込先の変更は、できる限り早急に書状、FAX、メールで年金局にお知らせください。

#### ☆第41総会期第3回年金局理事会

1月24日(金) 教団会議室にて各教区理事、監事、東京教区支区代表、教団総幹事など29名の出席で開催されました。日頃の理事の働きとして、教区のさまざまな集会の場や、各個教会・伝道所に向けて直接、謝恩日献金を呼びかける工夫や報告を共有いたしました。

また、先生方の隠退後の生活を支えるための教団年金制度に、全教師が加入されるように働き掛けていくことを、使命のひとつと考え努力と工夫をしていきたいという常任理事会からの提言があり、活発な意見交換がなされました。まずは直近5年以内に准允を受けられ、なおかつ未加入の60名(除く、教務教師・無任所教師)の先生と教会宛に直接お誘いをするを始めました。

これからも、この制度の永続的な健全

運営のために、全国の教会と信徒の皆さまと共に、祈り歩んでまいりたいと願っております。

☆レントの季節を迎え、皆さまいかがお過ごしでいらっしゃいますか。年明け間もなく新型コロナウイルスの報道が流れ、あつという間に国内外に蔓延、教会活動にも影響を与えています。ご高齢の方や持病がおありの方は、特に注意が必要とのことです。皆さまくれぐれもご注意ください。健康が守られますよう、お祈り申し上げます。(村山めぐみ)

#### 《2020年度現況届》提出のお願い

今月は「現況届」をご提出いただく月です。同封ハガキをご確認ください。

- ①変更事項欄の有・無、変更のある場合は訂正事項をご記入ください。
- ②9月に発行される受給者名簿に氏名、住所、電話番号の記載を希望されない方は、該当欄に☑をつけてください。
- ③名簿の送付が必要ない方は、該当欄に☑をつけてください。

以上をご確認の上、同封の個人情報保護シールを貼り、ご返送ください。

#### 投函期限 3月31日(火)

※このお知らせを受け取られましたらご記入の上、すぐにご投函ください。

#### 《ご注意》

ご提出が無い場合、現況の確認ができませんので、7月10日以降の送金を止めさせていただきます。その後確認でき次第、送金を再開します。

#### 日本基督教団年金局 「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
年金局 Tel: 03(3202)2080  
Fax: 03(3202)2081  
mail: nenkin@clock.ocn.ne.jp  
支える運動 Tel: 03(3202)2081 (Fax 兼用)  
mail: sasae@flute.ocn.ne.jp